

- 市議団基本政策** みなさんと力を合わせ、実現めざしがんばります。
- ▶市民参加と情報公開、人権、多様性が尊重される立川を
  - ▶国民健康保険料の値上げ反対、1人1万円の引き下げを
  - ▶特別養護老人ホームの増設、安心できる介護保険制度を
  - ▶家庭ごみ袋の値下げ、オゾンフロアマットの導入
  - ▶保育園の待機児ゼロ、保育士の待遇改善
  - ▶入学時のコンドセル、制服代の補助。学校給食の無償化を
  - ▶第一小学校、第四小学校の自校方式の給食存続を
  - ▶自治会、子ども会、老人会の自主的活動支援を強化
  - ▶公契約条例、リフォーム助成条例制定で市内業者を支援
  - ▶憲法9条改悪反対。横田基地へのオゾンフレ配備撤回を



日本共産党市議団は、「市政アンケート」を取り組むなど、皆さんの声を市政に反映させるために努力してきました。そして、国保料の引き下げ(2016年度)や都有地を活用した特養ホームの建設を実現できました。市民のみなさんと力を合わせて市政を動かしてきました。

## 日本共産党

市民の暮らし最優先の  
立川市政の実現のために

浅川修一   

憲法9条を守り  
格差と貧困をなくす  
政治を

**日本共産党** 前市議会議員

あさかわ  
しゅういち  
**浅川 修一**

**Profile** 1955年、山梨県高根町(現在の北杜市)生まれ。岩手大学工学部(現在の理工学部)卒。自動車部品会社で働く。日本共産党立川・昭島地区委員会に勤務。立川市議6期(通算)、都議1期、市長選に立候補、党衆議院東京21区予定候補などを歴任。現在、党地区副委員長。

**活動地域** 柴崎町全域、富士見町3丁目9～21、4丁目20～23、5丁目23～27、6丁目、7丁目

**事務所** 立川市柴崎町1-18-25  
TEL/FAX:042-522-8606



STOP  
安倍政治

昨年の都議会議員選挙では、大変お世話になりました。私の力不足で大変申し訳ありませんでした。多くの方から地域の声を市政に届けてほしいとのご意見をいただき、市民のくらしや市政の現状を考える中で、ふたたび市政への挑戦を決意しました。アベノミクスで格差と貧困が広がっています。私は1%の富裕層のための政治ではなく99%の国民のための政治実現に全力をあげます。

# 地域、住民の声を市政に届ける ために全力をあげます

## 地域に役に立つ政治家になりたい

立川駅南口の区画整理で清算金という名前で、住民負担がある問題で、6回にわたり市議会で質問、清算金の徴収をゼロにしました。

また、第一小学校の建て替えでは、第2校庭に体育館をと提案し実現しました。聞く、調べる、届けるが私のモットー。住みよい柴崎町、富士見町に全力投球します。



## 市民の目線で税金の使い方を鋭く追及



立川市が、商業や農業、各種団体へ補助金を廃止しようとしたとき、ひとつひとつ税金の「補助金の役割」を明らかにして存続させました。80億円もの財政調整基金を積み立てている問題で、市が積み立ての理由を「税金が減った時に使うため」と述べていることに対して、過去にリーマンショックや東日本大震災でも財政調整基金を使わなかったことを明らかにし、市民の暮らしに回すべきと追及しました。

## いつも笑顔で、南口の早朝宣伝12年

私は、バイクや自転車で地域を回っています。気さくで話しやすい政治家になりたいと思います。立川駅南口での早朝宣伝は毎週続けて12年になります。住民の話をよく聞き、どうすれば実現できるか調査し、市政に届けるためにこれからも全力でがんばります。



日本共産党  
浅川 修一

あさかわ しゅういち

憲法9条を守る署名にとりくむ

「2度と戦争をさせてはならない」  
—— 平和が原点



私の父は、戦争に行きシベリアに抑留された経験を持っています。子どものころ、父が「まさか戦争になるとは思っていなかったが、あれよあれよという間に突き進んでしまった」と言っていた言葉が忘れられません。学生時代には、原水爆禁止の運動にも参加しました。平和が私の政治活動の原点です。子どもや孫たちの世代に憲法9条を手渡すために全力をあげます。